

平成 25 年度事務事業評価表(公共事業用)

①事務事業名		事業コード 110503		日東地区まちづくり事業		担当 部課	部課コード 110500	TEL 2998-9366			
開始年度		平成 17 年度		→		終了年度		平成 年度			
②事業の概要		事業の種類		<input checked="" type="checkbox"/> 土地利用 <input type="checkbox"/> 土木建設 <input type="checkbox"/> 建築 <input checked="" type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 単独 <input type="checkbox"/> 単年度 <input checked="" type="checkbox"/> 複数年度		根拠法令		都市計画法、土地区画整理法、都市再開発法、所沢市街づくり条例等			
		分り別計画・指針		所沢市まちづくり基本方針、所沢市都市計画都市再開発の方針、所沢駅周辺まちづくり基本構想、所沢市中心市街地活性化基本計画等		関連・類似事業		所沢駅西口地区まちづくり事業			
		総合計画の体系		章 街づくり 節 市街地整備 基本方針 市街地開発事業等を推進します		事業開始の背景・目的(どのような経緯で、どのような効果を目指して実施しているのか)		当地区は、所沢駅西口の至近の商業地域であるが、地区内の多くの生活道路が狭いため、駅至近の商業地域に相応しい土地利用が困難なうえ、防災・交通・住環境等の面で多くの問題を抱えている。当初は、組合施行による市街地再開発事業の事業化を進めていたが実現が困難となり、平成16年度に地元権利者の要請を受け、市施行の土地区画整理事業を基本とした安心で安全な地区全体の街づくりの検討に着手した。			
③事業の内容											
事業の内容・実施方法(最終的にどのような状態を生み出そうとしているのか、そのためにどのような方法・手段を用いるのか)											
所沢駅西口の至近の商業地域に相応しい土地利用の推進、防災、交通、住環境等の問題の改善を図るために必要な市街地整備の方向性を定め、事業計画を策定することで事業化に向けた取り組みを進める。また、地区の一部において新たに市街地再開発事業を目指す動きが始まったことから、その事業が先行的に地区全体の核・拠点となり、地区全体の街づくりにつながるよう支援していく。そのため、地元住民・関係権利者へ情報提供を行うとともに、話し合いの場を設けるなど地域の意向を把握しつつ、街づくりの方向性・整備計画を取りまとめる。											
事業開始後の環境変化(人口や需要量見込み等の社会経済情勢の変化、自然環境の変化等)とそれに対する対応											
平成16年度の要請を受け、市施行の土地区画整理事業による事業計画案を作成し、地元住民・関係権利者に対する説明を行ったが、地区全体の合意が難しい状況となった。そこで、平成20年11月に、地区内権利者から先行的に共同化事業を進めたいとの意向が市に示されたため、先行街区として検討され始めたが、事業に対する考え方の相違より、民間開発と法定再開発に分かれて事業を行うこととなった。先行街区は従来より一体的な整備を目指していたことから、両者が一体的な街づくりになるように指導していく。同時に、地区全体の骨格となる道路整備について早急に検討していく。											
		事業開始時の総事業費予定額		0		事業の進捗率		平成25年度の事業内容及び平成26年度以降に予定している事業内容の概要			
		事業費累計(平成24年度まで)		21,669		#DIV/0! %		権利者の意向を確認しながら実現可能な整備手法について検討を進めるとともに、事業に対する機運が高く、権利者の合意が得られたエリアから順次支援・整備を進める。 平成24年7月に所沢東町地区第一種市街地再開発事業準備組合が設立されており、事業化に向け平成25年度に都市計画決定、平成26年度に組合設立認可等に取り組んでいく予定である。また、日東地区全体の骨格となる道路の整備については、権利者及び自治会・町内会を対象とした説明を行い、整備手法について地元の理解を求める。			
平成25年度実施計画における事業費		平成25年度		124		#DIV/0! %					
		平成26年度		367,721		#DIV/0! %					
		平成27年度		120,221		#DIV/0! %					
		現時点での総事業費予定額				平成 年度終了予定					
④経費											
《会計種別》		一般会計		平成 23 年度 (千円)		平成 24 年度 (千円)		平成 25 年度 (千円)			
当初予算				51		56		124			
決算(見込み含む)				13		15		※「財源内訳」について平成25年度のみ、当初予算の内訳となっています。			
(非常勤特別職員)		(臨時任用職員)		(0.00人)		(0.00人)					
正規職員人件費		1.95人		17,922		3.07人				27,206	
事業費合計		17,935		27,221		27,221				124	
財源内訳		一般財源		17,935		27,221		124			
		国・県支出金		0		0		0			
		その他()		0		0		0			
⑤成果											
成果指標		項目名		項目説明		単位		H 23 H 24 H25目標値 将来目標			
		街づくりに向けた具体的な効果		地区の街づくりの方向性を決定することを目標とし、各年度の事業進捗を目標とする。		%		目標値 権利者調整等 権利者調整等 総合施行の市街地再開発事業の都市計画 方向性決定 決定 「実績」 「実績」 拡大図る 縮小図る			
目標達成状況		どれだけ目標に近づいているかを達成率として示しています		%		達成率		ERROR ERROR ↑どちらかをチェックしてください			
成果指標設定理由・目標値の考え方		街づくりに向けた調査・検討を行い権利者との認識の共有化を図ることにより、地区の街づくりの方向性を定めることが当面の目標となることから、各年度の進捗状況を成果指標とする。									
⑥評価											
事業計画見直しの必要性		<input checked="" type="checkbox"/> 見直しの必要あり⇒ <input type="checkbox"/> 見直しの必要なし⇒		理由及び今後の方向性 当地区においては、平成24年度に入り、ファルマン通り交差点南東側の法定市街地再開発事業の実現性が高まってきていることから、事業に対する支援及び事業費の予算化が必要である。今後は、都市計画決定に向けての支援等を行う。							
総事業費見直し		<input checked="" type="checkbox"/> 見直しの必要あり⇒(<input checked="" type="checkbox"/> 増額 <input type="checkbox"/> 減額 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 終了) <input type="checkbox"/> 見直しの必要なし									
上記評価の理由		ファルマン通り交差点南東側で進む組合施行の法定市街地再開発事業等、街づくりに対する機運の高まりから、準備組合等に対する支援や、日東地区全体について権利者の合意が得られた事業を支援していくため。									
		H25.7.31		評価者職氏名		中心市街地整備担当 中留吉人					
⑦環境影響											
有益な環境影響		5-2安心な都市空間の整備		5-3オープンスペースの創造		有害な環境影響を及ぼす原因活動		市街地整備			
規制を受ける環境法令等								緊急事態			
								有 無			